

ゆったり、いきいき、スローで行こう!!

# 北区スローライフ宣言

北区では、子どもから高齢者まで、いきいきと暮らせる街を目指すために、右の4つのキーワードを掲げてスローライフ運動を展開しています。区民の皆さんが自ら、「ゆとり」「豊かな心」「健康や生きがい」など、生活の楽しみを見いだす、さまざまな活動を支援しています。

- 「食と地産地消」
- 「花と環境」
- 「健康と元気」
- 「歴史と文化」



篠路地区で、街を花でいっぱいにする活動を進めているボランティア団体「秋桜」の杉本光江さん(右)と黒畑百合子さん。自分たちで育てた菜の花の花壇で、笑顔を見せてくれました

詳細 北区地域振興課まちづくり調整担当係 ☎ 757-2400 内線 253

がとうございます。この花のおかげで、友達が増えました」と笑顔で答える山本喜代さん。山本さんが家族のために庭に花壇をつくり、花で飾ってみようと思いついたのは三年前のこと。「庭が美しい花でいっぱいになると、足を止めて『きれいなマツバボタン。懐かしい感じがしますね』などと声を掛けてくれる人がいるんです。花の好きな人とお話する機会が自然と増え友達になりました。実際に花壇づくりを始めると、植え方や肥料の種類など難しいことはありますが、これを苦勞に感じると、とても続けられません。私は花が好きです。私から多くの人に楽しんでもらえるよう、花植えの勉強をしながら花壇の手入れを続けて、交流を広げていきたいと思えます」。そう言いつつ目を細めながら花壇を見つめます。その後、瀬戸さんから花摘みの方法などについて、真剣な表情でアドバイスを受けていました。

## 癒やされる庭づくり

「種を分けてあげた人から『花が咲きました。ありがとうございます』というお手紙をいただくことがあるんですよ。それはもう、うれしくて」と満面の笑みで語るのは梅内富子さん。「回り道してこの庭を見に来たよとか、心が和みましたよとか。そんな声掛けをしてくれると、この庭は人の役に立っているんだなと感じます。でも、やはり一番大切なのは、花のある生活で自分が癒やされること。時にはお友達と一緒にのんびり庭を眺めてお茶を楽しんでいます。春になると、花の香りが庭に広がり、とても良い気分になりますよ。特にジンチョウゲの甘い香りは最高です」。この日は、瀬戸さんを大好きなフジの花やシヤクナゲなどが咲く美しい庭に案内しながら、色とりどりの花で飾る庭づくりの魅力について一緒に語り合い、夢中になっていました。



## オリジナルの庭で

「実は私、土いじりが苦手です」と語り始めるガーデニング歴四年の佐藤源治さん。しかし、話を続ける言葉からは、花を育てる熱意が伝わってきます。「チューリップを育てていて、花の色を統一しています。一斉に咲くと見事です。鉢植えは庭にランダムに置きます。少ない鉢数で広がりが出ます」などと独自の工夫に目を輝かせます。家の前を通り過ぎる人に楽しんでもらいたい、そんな思いが散りばめられた庭。瀬戸さんと庭を美しく飾るアイデアを出し合っていました。

「花を育てている人はみんな笑顔。花づくりは人間が本来持っている良い面を引き出すんじゃないのかな」と瀬戸さん。「私が大切にしていることは『花を通じた出会い』。出会った人から自分の経験したことのない話を聞くことができる。これって素晴らしい。そのことが自分自身の原動力となり、チャレンジ精神が生まれる。今回取材した人たちもみんな笑顔だったね。また交流の輪が広がったよ」とうれしそうに語っていました。



自宅の庭で、今回の取材を振り返る瀬戸さん



花を通じた人との出会い、花に囲まれて過ごす癒やしの時間、独自の発想で楽しむ空間。今回は、花づくりを通して「スローライフ」の魅力を紹介しました。皆さんも身近なところから、自分に合ったスローライフを探してみませんか。

※瀬戸さんのオープンガーデン

所在地：北区北31条西8丁目3-28 公開日・時間：6月20日～9月末まで。午前9時～午後5時